



日本銀行におけるXBRLへの取組み

実務利用の最前線からの報告

—— 第10回XBRLシンポジウム ——

2007年3月13日

日本銀行金融機構局
和田 芳明

Transforming Business Reporting



1. なぜXBRLなのか (1)

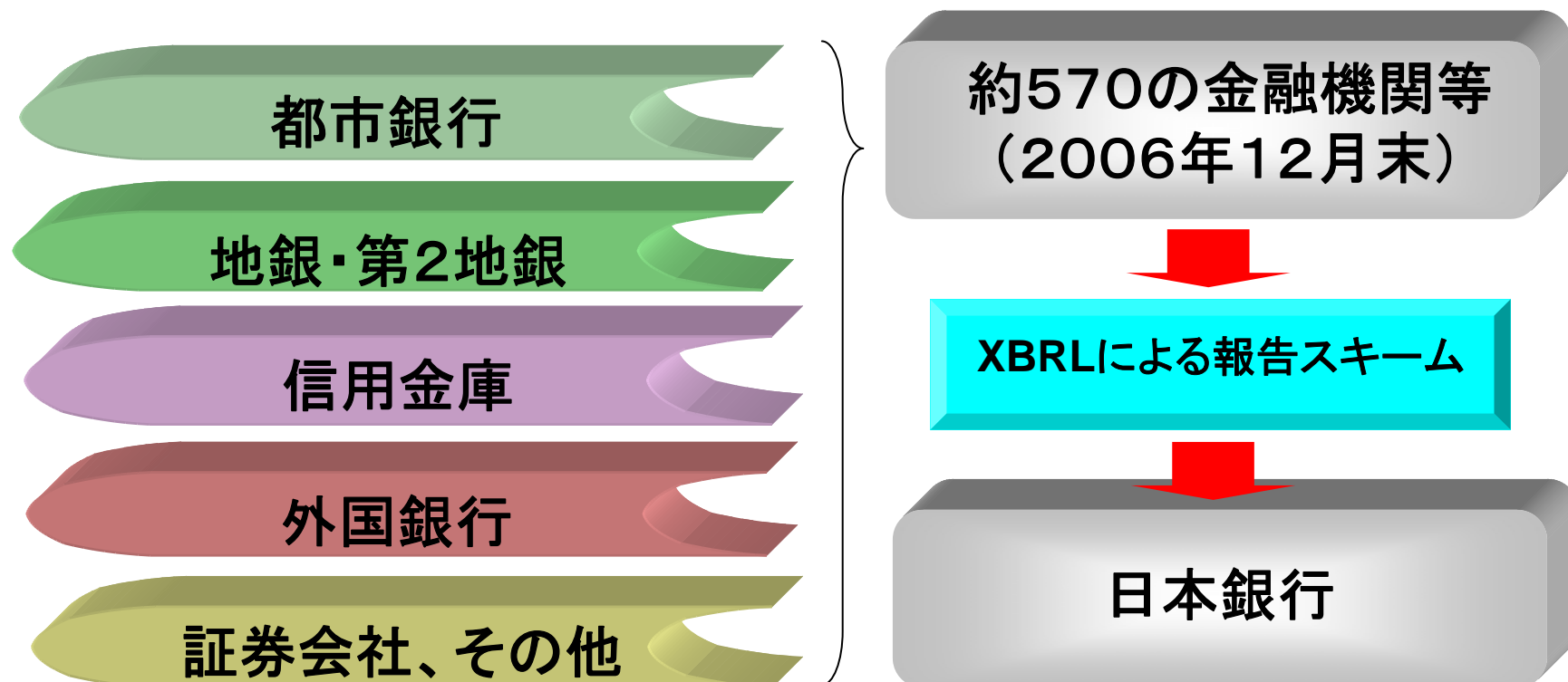
効率的なデータ授受の手法として、高い技術的可能性を有していること

XBRLの技術的特長

- 高いデータ再利用性
- 幅広いコンピュータで利用可能であること
- データの自動処理に適していること
- 優れたデータ整合性チェック機能を有していること

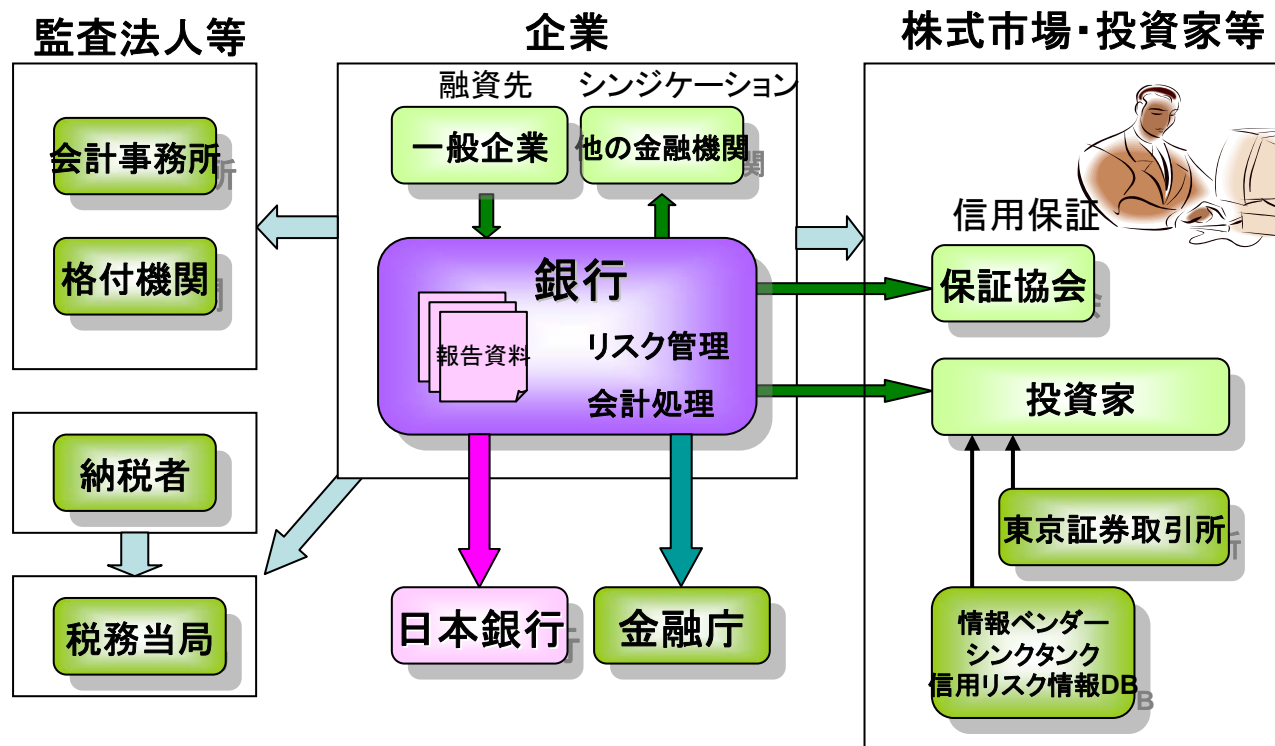
1. なぜXBRLなのか (2)

金融モニタリングの立場から見た場合、XBRLは極めて効率的なデータ収集手段となる可能性を有していること



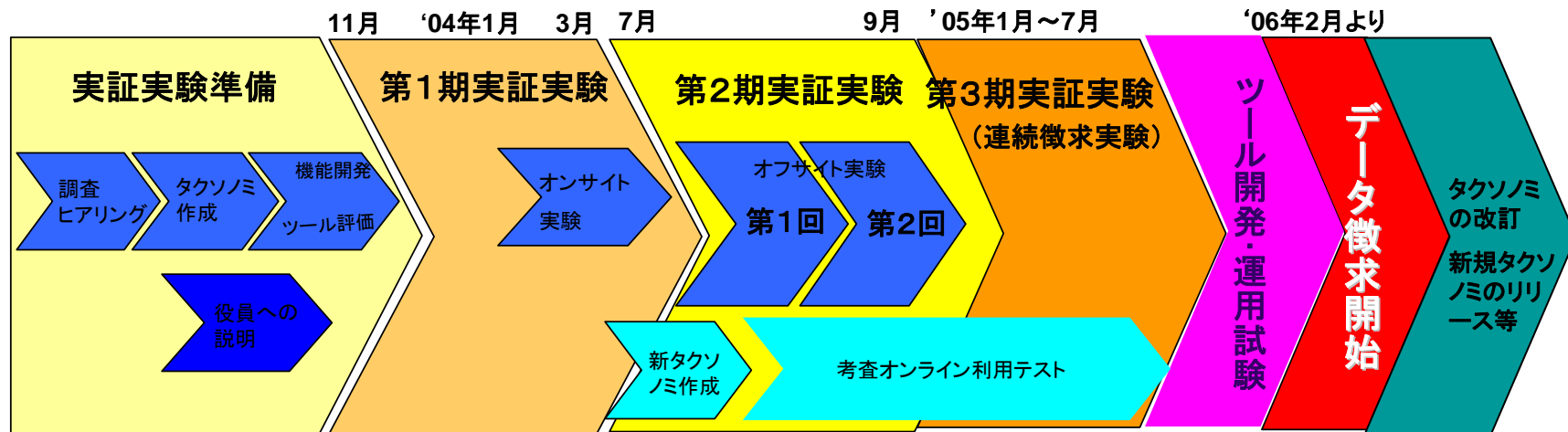
1. なぜXBRLなのか (3)

情報サプライチェーンの観点から見た場合、XBRLは、社会全体の情報交換の効率化を促すインフラとなる可能性を有していること



2. プロジェクトの歩み

- 2003年央から基礎研究に着手
- 3期にわたる実証実験を経て実用化の可能性を確認
- 2006年1月に金融機関との最終稼動試験を実施、2月より、本番稼動を開始（当初は約500先の金融機関と月次のB/Sデータの授受を開始）
- 2006年6月には、報告内容の改訂に伴うタクソノミの更新も実施



月次B/SのXBRL形式による授受を開始



3. 実働開始後1年間の評価 (1)

1. システムトラブル・ゼロ

- ⇒ 日本銀行から配布した XBRL データ作成ツールはノー・トラブルで稼動。
- ⇒ 報告スキーム全体のフィージビリティの高さを確認。

2. XBRLでの提出率は100%

- ⇒ XBRLでの提出は義務化されていないが、金融機関のご理解・ご協力により、対象となった報告データのXBRLでの提出率は100%。
- ⇒ 新しい報告スキームに対する金融機関の理解、習熟も着実に前進。



3. 実働開始後1年間の評価 (2)

3. タクソノミの改訂・リリースも順調に完了

- ⇒ 2006年5月には、会社法の改正に伴い、タクソノミを改訂。
- ⇒ 迅速なタクソノミの改訂、毎月の報告事務に間に合うよう金融機関への確実な配布を実現。

4. XBRL による報告対象計表の拡大

- ⇒ 2006年11月からは、対象を信託勘定における月次バランスシートにも拡大(従来は銀行勘定分のみ)。



4. 報告スキーム・事務効率改善への取り組み

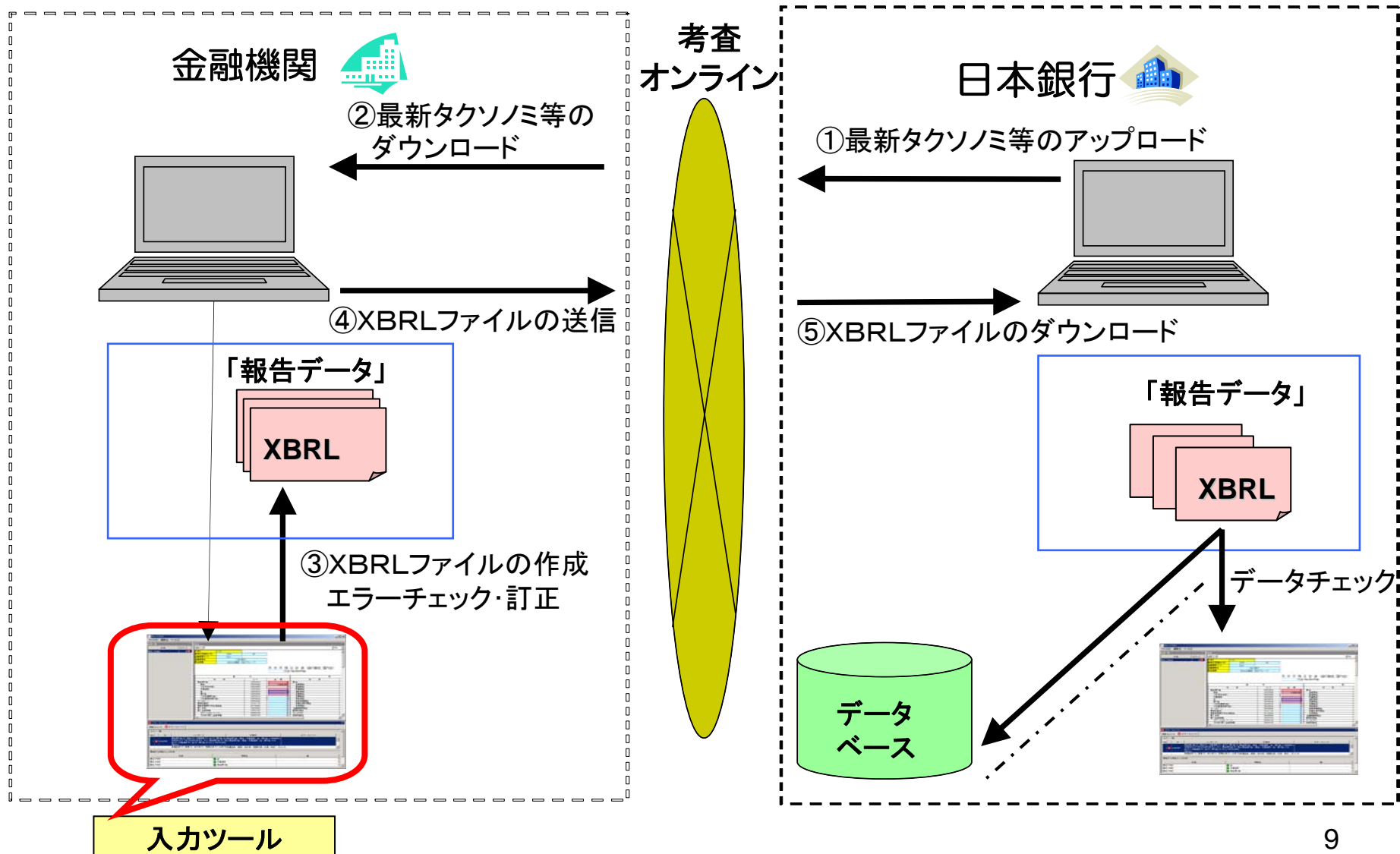
1. タクソノミ設定ツールの開発・提供

- ⇒ タクソノミの改訂・新規追加に伴い、金融機関は報告計表に合わせてタクソノミを選択し、正しく設定することが必要に。
- ⇒ 新たに開発したタクソノミ設定ツールを提供することで、金融機関における円滑なタクソノミの入れ替え・設定を実現。

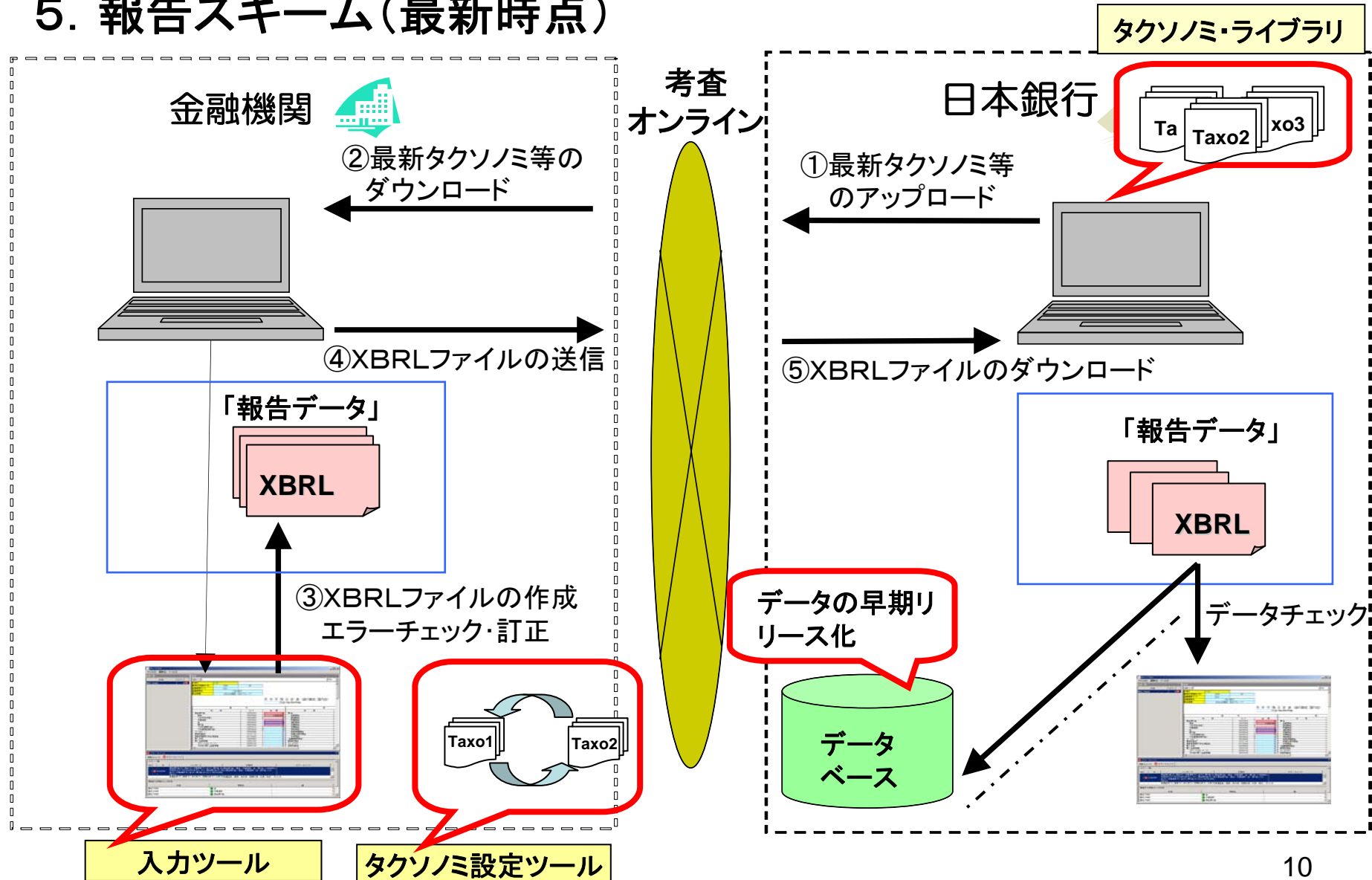
2. 日本銀行内部におけるデータ処理プロセスの改善

- ⇒ XBRLのFormula Link機能によるデータ・エラーチェックの活用と、データベースの機能改善により、データの精度向上、データ処理プロセスの効率化を実現。

5. 報告スキーム(カットオーバー時点)



5. 報告スキーム(最新時点)





6. 日本銀行報告スキームの特長

1. 高度な安全性

- ・IP-VPNを活用した報告用オンラインネットワークを構築し、高度な安全性を確保。
- ・タクソノミの配布、XBRLデータの報告は全てオンライン上で実現。

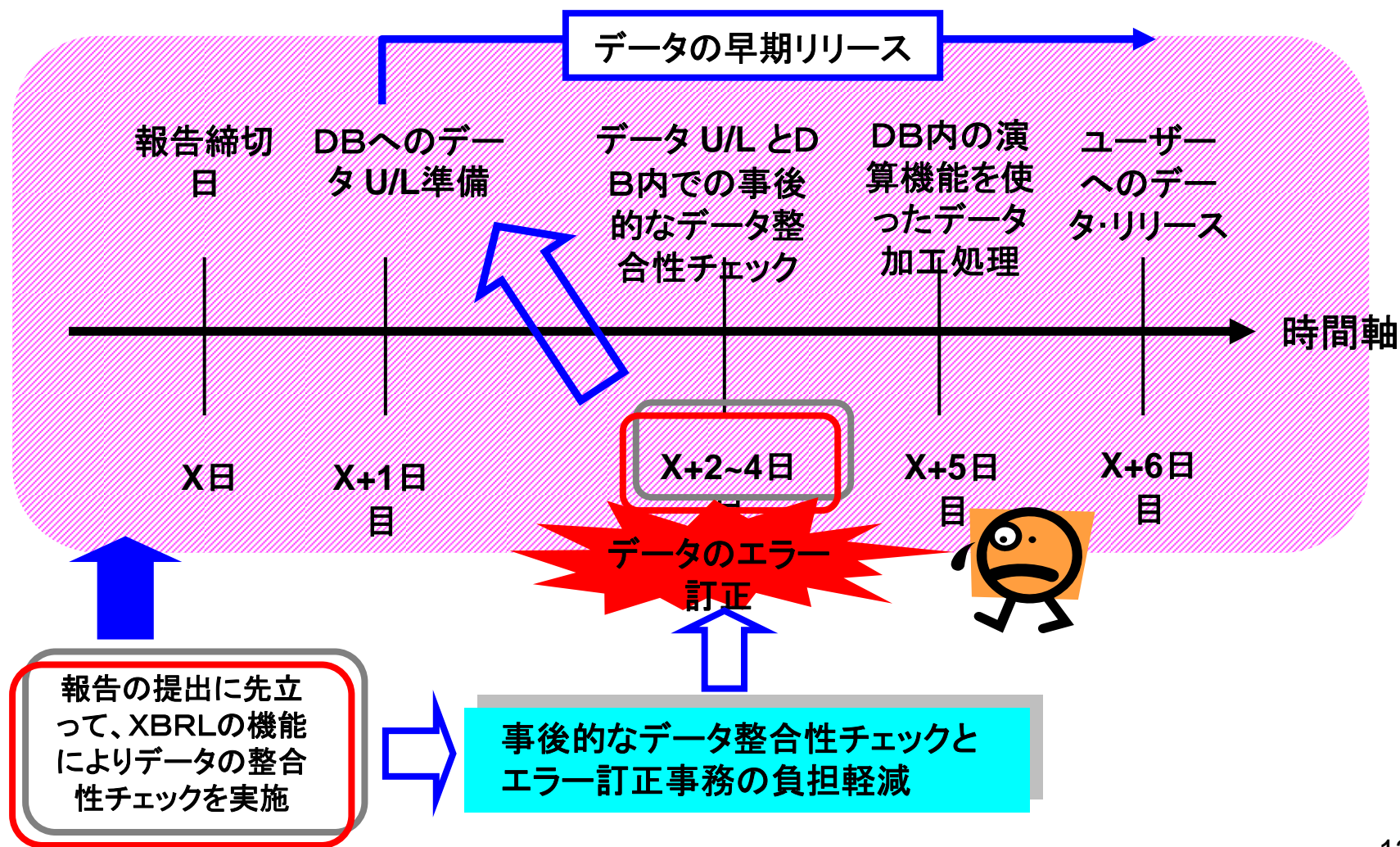
2. 高いデータの正確性

- ・XBRLの最新スペックVer2.1に準拠。
- ・Formula-Linkによる強力なエラーチェック機能を実現。

3. 高度な操作性

- ・簡単な操作でExcelからXBRLにデータ変換し、エラーのチェック・訂正ができるツールを無償で提供。

7. XBRL導入に伴う事務フローの変化





8. 今後の課題

- XBRLによる報告対象データの拡大
 - ✓ XBRLの特性を活かした形での報告対象データの拡大(預金や金利、決算関係など他の報告計表も対象に)
- XBRLデータベース・分析ツールの開発
 - ✓ XBRLの特性を活かせるDB、データ分析ツールの検討・開発
- 効率的なタクソノミー管理
 - ✓ 報告書式の改訂に迅速に対応できるタクソノミー保守体制
 - ✓ 報告金融機関が所定の報告に対応したタクソノミーを確実に利用できる体制
 - ✓ 過去の訂正報告に備えたより使いやすいタクソノミーライブラリー機能の整備



9. XBRL実用化の3つのポイント

➤ メタデータ(タクソノミー等)の開発

➤ XBRLデータ作成のためのツールの開発

➤ 全体の事務フローを支えるビジネスモデルの確立

ご清聴有難うございました